

脳機能データを集積

「まゆっこ」リハビリにも効果

サロンオールデイズ

高齢者
マーケットへの
挑戦

リハビリ型デイサービスの開業支援を行う
サロンオールデイズ(東京都中央区)は、
認知機能の低下が脳の活動とつながっている
手の動きによって把握できることに注目し、
脳の指示による手の動きをデータ化するシス
テムとして「まゆっこ」を開発。販売代理店
を募集する。菅澤清季会長に話を聞いた。



菅澤清季 会長

「開発のきっかけを
教えてください。」

菅澤 高齢化に伴う認
知症患者の増加は社会
問題となっています。
特に多いアルツハイ
マー型認知症による認
知機能の低下を物理的
データで判断するアイ
テムとして「まゆっこ」
を開発しました。20
13年ごろから構想
し、16年から17年にか
けてリハビリナーの
納品先に10台販売しま
した。

これは、東京都健康
長寿医療センター(東
京都板橋区)の「地域
型認知症予防プログラ
ム」の運動部分をデー
タ化するシステムで
す。介護現場で脳の動
きをデータとして直接
得ることは困難です。
そこで、利用者に「ま
ゆっこ」を持ってもら
い、映像のキャラク
ターと同じ動作をして
もらうことで「まゆっ
こ」の中にある速度や
位置情報などのセン
サーが利用者の手の動
きを測定し、コン

ピューターの動作指示
とセンサー情報との相
互関係のデータベース
をつくり、時系列で
データを比較します。
手はミラー効果でキャ
ラクターの動きに動機
づけられて動きます。
それは脳から指令が送
られているからです。
つまり、手の動きで脳
を間接的にチェックで
きるのです。
「なぜ手の動きと脳
の活動に着目したの
でしょうか。」



▲座ったままで測定可能

食事をするなど、特に
手の動作が重要となり
ます。手の動作は腕の
動作で位置を決め、指
の動きで物を握ったり
離したりします。

「まゆっこ」は、コ
ントローラーを持ち、
目に入るキャラクター
映像と同じ動作をする
のですが、手に動作を
指示する脳の判断を
手の動きを測定するこ
とで間接的に知ること
になります。同時に
キャラクター映像が変

認知症の兆し早期把握 代理店での販売へ注力

菅澤 手が動くのは、
対象物を見て、その
情報が脳に入り、脳
が何をどのようにする
かを決め、手の動作に
指令を送るからです。
目と脳と周囲の状況を
確認しながら、指から
の情報を受け動作する
仕組みになっています。
この目・脳・腕・
指といった一連の動作
を物理的なデータとし
て取得するのです。

「具体的には。」
菅澤 日常生活では、
顔を洗う、歯を磨く、
食事をするなど、特に
手の動作が重要となり
ます。手の動作は腕の
動作で位置を決め、指
の動きで物を握ったり
離したりします。

「測定だけでなくリ
ハビリにもなる。」
菅澤 「まゆっこ」は
椅子に座ったままゲー
ム感覚で楽しくできる
簡単な上肢運動です。
コントローラーを両
手で握り、腕を上下や
斜めに回転させる運動
や指を握る力を測定し
ます。片手が不自由な
場合でもバンドなどで

りリハビリナーによ
る主に下肢運動デー
タと「まゆっこ」から得
られる上肢の脳活性
データの関連性がさら
に確認できます。

例えば「まゆっこ」
のデータに変化が現れ
た場合に「リハビリ
ナー」の運動データが
どのように変化したの
かなど、合せて分析す
ることで認知症と運動
の関連性をデータで認
識することができま
す。「まゆっこ」の管
理ソフトはリハビリ
ナーと同じ使い方がで
きるため、利用者情報
運動情報などリハ
リナーとのデータ共
有が可能です。介護予
防と認知症予防の双方
をPRできます。

「今後の展開は。」
菅澤 本格販売に伴
い、直接販売だけでは
なく、代理店販売を行
い、まずは月10台の導
入をめざします。

「まゆっこ」は計測
用のトレーニングア
プリのほかに数字遊びや
漢字、料理に関する問
題などの脳トレや金魚
すくいを楽しめるレク
リエーションのアプリ
ケーションなども用意
されています。

このようなアプリの
バージョンアップと
ともに、機器メーカーと
して「予防事業」に注
力していきます。今後
は口腔ケア商品の開発
を進めていきます。

「より効果的なト
レーニングは。」
菅澤 介護予防自動筋
力トレーニングマシン
「リハビリナー」と
組み合わせることでよ